

# 融合研究臨床応用推進センター

挨拶

融合研究臨床応用推進センター  
望月修一 教授



2015年9月1日付けで融合研究臨床応用推進センターの特任教授として着任いたしました望月修一と申します。

私は下部町（現身延町）の出身で1995年に本学医学科を卒業しました。卒業後2006年まで東京大学で人工心臓の基礎研究・開発に携わった後、大阪工業大学工学部生体医工学科で医工学の研究・教育に

従事しました。2012年からは独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に移り医療機器の審査に携わりました。2014年からは国立国際医療研究センター臨床研究センター医療情報解析研究部に移り、臨床研究の支援・教育などを行ってきました。

以上のような経験をふまえ、融合研究臨床応用推進センターにおいて「やまなしものづくり産業雇用創造プロジェクトにおける医療機器設計開発人材養成講座」を行うことが私の主たる任務です。

この講座は企業の方を対象に、医学の基礎知識、医療機器の設計開発、規制、保険償還など必要な知識を伝え、さらに実際に機器の設計試作から申請書作成までを実習として行い、今後の医療機器分野参入を促すことを目的としています。

現在の医療の限界を突破するためには、新しい薬や医療機器の開発が必須です。それを患者さんの元に届けるために、産官学が手を取り合って開発を進めることで、本学で行われている素晴らしい研究成果や臨床の先生方の情熱を、1日でも早く患者さんに届け、一人でも多くの患者さんを笑顔にする一助となればと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 平成28年度 医療機器設計開発人材養成講座の開講式 が行われました！



県内を中心とした産業界の社会人技術者等を対象に、医療機器の設計開発に必要な知識等を習得する機会を提供し、県内中小企業等が設計開発技術者の採用、育成に取り組みやすい環境を整備するために、本学が、**やまなしものづくり産業雇用創造プロジェクト**として山梨県から受託した「医療機器設計開発人材養成講座」が、平成27年度に引き続き、平成28年度も開催することとなり、平成28年4月12日に開講式を迎えました。

講座は、原則として毎週火曜日18時から（90分×2コマ）となっています。医療に携わる講師の先生方を招いて行われる医学部キャンパスおよび融合センターでの座学や指導教官が引率し、附属病院や工学部キャンパス、工学部附属ものづくり教育実践センターでの見学、実習を行います。そして、**称号認定試験**や**医療機器の製作実習**を行い、その成果を発表します。

両キャンパス及び附属病院が良き学びの場となりますよう  
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。